

第 132 回東葛しぜん観察会

ワラで楽しく作るお正月飾り

遠藤 鏡子（柏市）

日 時：2016年12月11日（日）10～12時 天候：晴れ

場 所：21世紀の森と広場 パークセンター（松戸市）

参加者：大人31名、子ども2名、パークセンター2名、指導員16名

担当指導員：草野 日野原 遠藤(鏡) 三角

今年も東葛しぜん観察会恒例の稲ワラで作るお正月飾りを行いました。今回は松戸市内の総合公園 21世紀の森と広場のパークセンタースタッフの方々との共同での開催となりました。

みなさん会場に入ると用意されたワラやお飾りの木の実に興味深々。あらかじめ出来上がりの見本を見ていただくとますますテンションが高まります！ まずはパークセンターのスタッフの方と東葛しぜん観察会代表の山口さんからの挨拶の後、日野原さんが日本のお正月にゆかりのある植物といわれをご紹介します。センリョウ・マンリョウは最近では園芸ショップでも年の瀬になると売られています、冬に鮮やかな赤い実をつける植物。ユズリハは新しい葉に譲るように葉が落ちるので、代々家が長くという願いが込められた縁起物。そしてダイダイ（橙）やウラジロなどもお正月に欠かせない大事な植物です。最後に各地で違うお正月のお飾りを絵で表したものを掲げてご紹介しつつ、いざお飾り作りスタート！

今回もお飾りを作るチーム、稲ワラを緋う（なう）チームに分かれて制作。出来上がりの頃に今度はお飾りとワラ緋いを交代して作り上げるという作業で行いました。ワラ緋いチームはまずワラを根元で縛ってから3本の束に分け2本を捩じったところにより合わせ、ねじった3本目を最後により合わせるというやり方で、出来ない人は指導員が手伝うという形で仕上げていきました。そしてお飾り作りの方は、まず指導員が一つひとつの木の実などのパーツの下準備のやり方を一通り説明、あとは各自のセンスとアイデアで取り付ける角度や位置を決めて取り付けてもらいました。

今年も作業開始からワイワイ大盛り上がり！ みんな自分のお飾りをピカイチに仕上げようと必死です。大騒ぎの2時間でしたが、楽しい時間もあっという間に終わりに近づくと、とてもきれいなお正月飾りが出来上がり、みんな満面の笑顔でした。

最後にそれぞれ出来上がったお正月飾りを手に持って並んで、ハイッ！ チーズ！ 今年も受付と同時に定員に達したこの人気イベント、大成功でした。



リースにお飾りを取付け